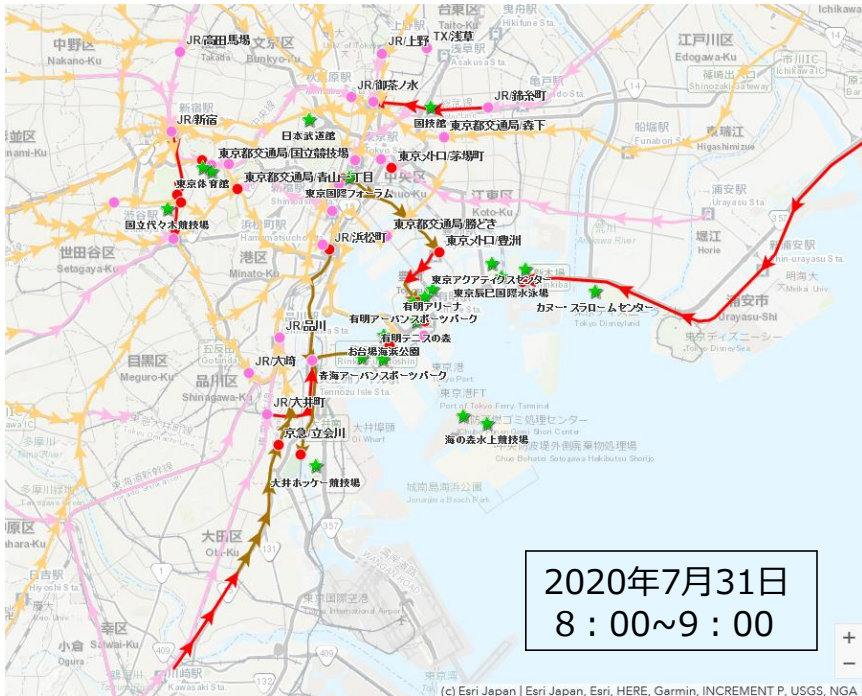


1. 何も対策を行わなかった場合

【鉄道】観客利用と道路からの転換により
利用者が**約1割増加**
(1日あたり最大約80万人増加)



※大会輸送影響度マップ

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 路線 | 駅 朝ラッシュ時間帯 (7:00~10:00) |
| — かなり混雑 (観客等の影響がある) | ● 普段の朝ラッシュよりも混雑 (観客等の影響がかなりある) |
| — かなり混雑 (観客等の影響がほとんどない) | ● 普段の朝ラッシュよりも混雑 (観客等の影響がある) |
| — やや混雑 (観客等の影響がある) | |
| — やや混雑 (観客等の影響がほとんどない) | ★ 競技会場 |

【一般道路】



大会関係車両は**バス約2,000台、乗用車約3,500台**



2019年7月試行時の環状七号線外側 (国道246号上馬交差点付近)

2. お願いしたい事項

混雑を避けるために…

- **大学活動において開始時間を工夫**
- **期間中を避けた物品搬入 (事務用品等含めて)**
- **期間中を避けたイベント等の開催**

混雑する日や時間帯を避けて、スムーズに移動！

スムーズビズの推進

新しいワークスタイルや企業活動の東京モデルを「スムーズ Biz」とし、その定着を図るため、これまで進めてきた東京2020大会の交通混雑緩和に資する交通需要マネジメント（TDM）とテレワークや時差Bizなどの取組を一体的に推進していきます。

住んでいる人も、訪れる人も、より快適な東京へ

スムーズ Biz

Smooth Biz



3つの取組で、新しい働き方の東京モデル